



HANAMAKI
CULTURE DECK

花巻カルチャーデッキ

1

**ベンチャー企業でもないのに、
自治体がカルチャーデッキを
策定するわけ**

カルチャーデッキとは？

カルチャーデッキとは、簡単にいうと企業や組織が持つビジョン、大切にしている価値観や文化等をまとめたもののことです。

花巻市が、なぜ、このカルチャーデッキを作ろうと考えたかという、地域おこし協力隊員のそれぞれが異なるミッションを掲げて活動していくなかで、メンバー全員がビジョンや価値観、醸成する文化等を共有していくことが、連携やパフォーマンスの向上を引き出すことにつながると考えたからです。



共につくる

また、新たに花巻市の地域おこし協力隊に加わる未来の仲間たちに、あらかじめ花巻市の地域おこし協力隊が大切にしているものを知っていただくことが、現役隊員のためにも、未来の仲間たちにとっても重要になると考えたため、今回、現役の協力隊員や OB・OG の意見を取り入れながら、「花巻市地域おこし協力隊カルチャーデッキ」を策定することとしました。





対話の土壌

カルチャーデッキは作って終わりのものではなく、現役隊員や市側が対話を通じて、共通の価値観、文化を醸成していくための共通の土台のようなものです。

このカルチャーデッキをスタートとして、協力隊員が生き生きと活動できる環境や文化を常に育み続ける、いわば、ゴールなきゴールを設定し続けるための「伴走者」となること、それこそがカルチャーデッキ策定の最大の理由です。

**花巻市地域おこし協力隊の
これまでの歩み**

2

なぜ、協力隊を導入したのか？

花巻市では、2015年から地域おこし協力隊を導入しました。

導入当初は、一人でも移住者を増やしたいという移住施策としての側面と地域活動の担い手不足の解消等といった地域課題の解決策としての側面という2つの面から効果を期待して導入されたものです。

そして、近年では、花巻市が直面または潜在する地域課題の解決策としての側面がより重視されるようになってきているのではないかと感じています。



「花巻に来た協力隊員には 幸せになってほしい。」

地域おこし協力隊の受け入れを始めるにあたって、花巻市長がまず言ったのがこの言葉です。

シンプルですが、本質をついているこの言葉を大切に、地域おこし協力隊が幸せになれる環境づくりに取り組み、協力隊もこの考えを軸として活動しています。



3

VISION

私たちは将来、どんな景色を
つくり出したいか？



自分たちの幸せで、 花巻に変化と元気を！

私たち、地域おこし協力隊は、自分が幸せになることはもちろんのこと、地域おこし協力隊員として、文字通り「地域おこし」をするために、花巻にやってきました。

しかし、協力隊だけに閉じた活動によって、花巻全体に影響を与えていくことは非常に難しいことだとも感じています。

だからこそ、協力隊の活動を通じて、自分が幸せになるだけでなく、つながってくれた方々、関わってくれた方々にも幸せになってほしいと思っています。

そして、その幸せの連鎖が、最終的に花巻全体に変化と元気を与えてくれると信じています。

MISSION

4

私たちは何のために存在しているのか？

Made in HANAMAKI の 「幸せ」をつくる！

私たちは、まず自分が幸せになるために花巻にやってきました。自分自身が幸せではない人間が周囲の方々を幸せにできるでしょうか？

まずは自分が幸せになることによって、周囲の方々も幸せにしていきたいと思っています。

また、花巻にはたくさんの魅力的な人がいます。また、花巻市外にも魅力的な人たち、花巻を応援してくれる人たちがたくさんいます。

私たちは協力隊員として、花巻をとりまく人たちをつなぎ、花巻の更なる魅力を引き出していくことも大切にしています。



5

VALUE

私たちがこだわりたいことは何か？



「やりたい」気持ちファースト

私たちは、与えられた仕事を行うのではなく、自分たちの「やりたい」という気持ちを大切に、活動として形にしていくことを重視しています。

そのために、自分が何をやりたいのかをしっかりと明確にしたうえで、実践していくことが必要だと思っています。

「言語化」×「実践」

私たちの「やりたいこと」を活動にしていくにあたって、その活動にどんな意味があるのか、その活動によって花巻にどんな影響を与えようと思っているのかを「言語化」していくことを大切にしています。

この「言語化」を大切にすることによって、活動について、多くの地域の方々から、理解や共感を得られるのではないかと考えています。





仲間をつくり、共に走ること。

私たちの活動は多くの地域の方々に支えられて形になっていくものだと思います。そのため、多くの仲間が必要です。一人では苦しくとも仲間がいれば乗り切れる、そんな場面に直面することもあるでしょう。

だからこそ、私たちは地域に溶け込み、仲間をつくり、その仲間と協力して、活動を進めていくことを大切にしていきます。

3年後につながるアクション

地域おこし協力隊の任期は最大3年間です。この3年という期間は、長いようで実はとても短いものであると思います。

だからこそ、私たちは任期終了後にどんな自分になっていたいのか、そしてそのために今はどんなことをしていく必要があるのかを常にイメージしながら活動をしていくことが大切だと思っています。



未来の仲間たちへ

6

地域おこし協力隊の活動、そして移住後の生活は楽しいことだけではありません。

悩みを抱えたり、辛い出来事もきっとあるでしょう。

それでも、幸せな人生の1ページとして、協力隊をやってみたいという方を

花巻市 地域おこし協力隊は歓迎します。

ぼくはきっとできるとおもふ。 なぜならぼくらがそれをいまかんがへてゐるのだから。

前十七等官 レオーノ・キュースト誌

宮沢賢治 訳述

「ポラーノの広場」より引用

このカルチャーデッキを、宮沢賢治（花巻市出身）が大好きな協力隊 OG に見てもらったところ、みんなで一つの理想を創り上げようとする姿勢から、宮沢賢治の「ポラーノの広場」を連想したとコメントをもらいました。

賢治さんにも応援してもらっていると勝手に思いつつ、この「ポラーノの広場」からの引用を未来の仲間たちへ届けたいと思います。

